

mca2013a.dot の記載要領

(1) MCA 包括免許に関する注意点

MCA の電子申請及び周波数移行に関する次の点について事前にご理解ください。

- ① アナログ及び 1.5 デジタルから移行先デジタルへの移行は無線設備の規格コードが異なるため、現免許の廃止と移行先デジタルの「免許申請」となり、周波数変更とはなりません。

また、現行 800M デジタルから移行先デジタルへの移行（移行先デジタルと現行 800M デジタルとの併存を含む）は「変更申請」となります。周波数移行の変更申請は、通信の相手方であるインフラが整備されていなくても受付されます。

併存した場合、19 備考欄の（注）の附款を記載することによって、現行 800M デジタル周波数を削除する変更申請は、提出する必要はありません。

変更することが確定している場合の再免許申請は、変更申請を事前に提出し、変更後の内容で記載してください。やむを得ず変更と再免を同時提出する場合は、その旨を「7 欄 理由」のフリー入力に記載してください。

- ② 周波数は（ ）内のコード表記となります。

- ・アナログ (ABH)
- ・アナログ (ABV はインフラがないため使用しません。)
- ・現行 800M デジタル (DBH)
- ・移行先デジタル (DBV)
- ・移行先デジタルと現行 800M デジタルとの併存 (DBV/ DBH)
- ・1.5G デジタル (DAL)

- ③ 無線設備の規格コード（ ）内のコード 3 種類となります。

- ・アナログ (MCA)
- ・1.5G デジタル (DMCA1)
- ・現行 800M デジタル及び移行先デジタル (DMCA2)

- ④ 周波数によって法令による使用期限があります。

- ・アナログ (ABH) は H30.3.31
- ・現行 800M デジタル (DBH) は H30.3.31
- ・1.5G デジタル (DAL) は H26.3.31

- ⑤ 免許、申請受付期限

アナログ（周波数コード ABH/規格コード MCA）及び現行 800M デジタル（周波数コード DBH/規格コード DMCA2）の、免許申請受付期限は平成 24 年 12 月 31 日までとなります。

ただし、1.5G デジタル（周波数コード DAL/規格コード DMCA1）からアナログ（周波数コード ABH/規格コード MCA）への移行及び現行 800M デジタル（周波数コード DBH/規格コード DMCA2）への移行に限り、平成 26 年 3 月 31 日までに免許を受けることができます。

⑥ 電波利用料の減免措置の適用を希望する場合は、防災基本計画に MCA 無線を利用することが記載されていることを確認できる書類の提出が必要な地方総通局があります。

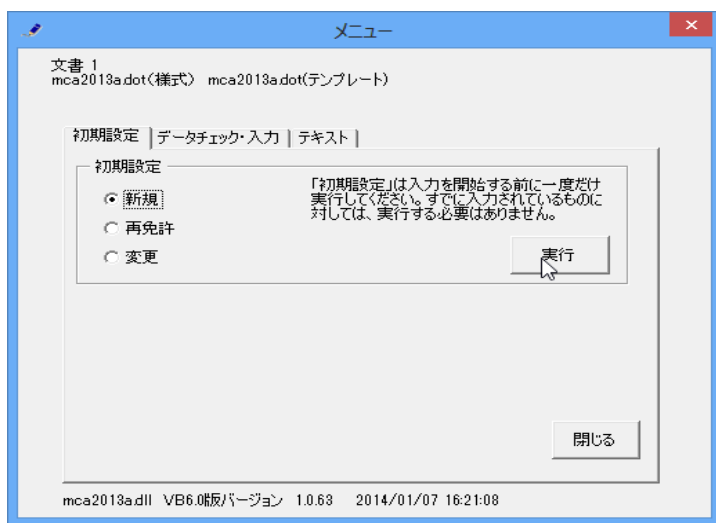
MCA 包括免許申請書の「7 欄 理由」フリー入力に減免を希望する旨を入力してください。(防災行政用 50% 減免、消防用及び水防用は 100%減免)

(2) 様式の選択と初期設定

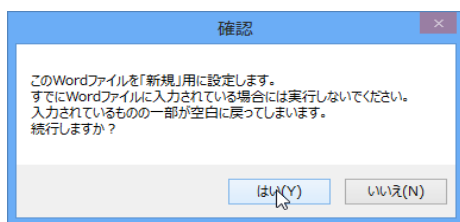
スタートメニュー（またはデスクトップ）の「電子申請サポートシステム」―「新規作成」フォルダに保存されている様式の mca2013a.dot を開きます。メニューの起動の仕方は、「各様式共通の記載要領」を参照してください。

● 「初期設定」タブ―「初期設定」

最初に宛先通信局を選択してから、新規（免許申請）か再免許（再免許申請）か、変更（変更申請）かを選択してから「実行」ボタンをクリックします。



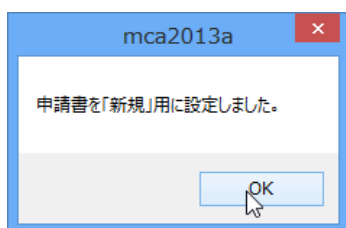
警告が表示されたら確認して「はい」ボタンをクリックします。



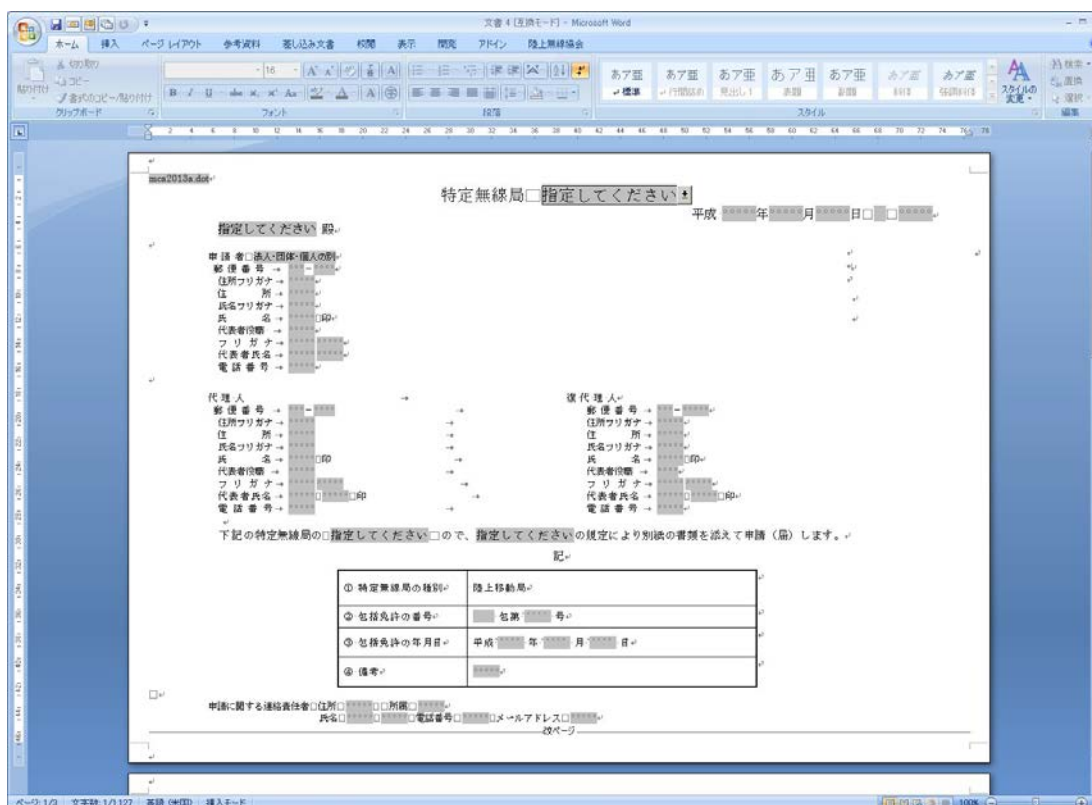
かがみ	
表題	「新規」のときは「免許申請書」に、「再免許」のときは「再免許申請書」に、「変更」のときは「変更申請書（届）」を選択します。
表題 2	「新規」のときは「免許を受けたい」「電波法第 27 条の 2」に、「再免許」のときは「再免許を受けたい」「無線局免許手続規則第 20 条の 8」に、「変更」のときは「変更したい」「指定してください」を選択します。 「変更」のときは「無線局免許手続規則第 25 条の 2」「無線局免許手続規則第 22 条」から選択してください。「免許手続規則第 25 条の 2」は周波数や電力の変更の場合に、「免許手続規則第 22 条」は名称、住所等免許状記載事項の訂正で選択します。

記入年月日	実行している日の年月日が入力されます。
事項書	
申請（届出）の区分	「新規」のときは「開設」、「再免許」のときは「再免許」、「変更」のときは「変更」がチェックされます。
無線局の目的コード	「MCA」が選択されます。修正することはできません。
欠格事由	「無」がチェックされます。修正することはできません。
開設、継続開設又は変更を必要とする理由	「新規」のときは「無線局による事業・業務の開始・拡充」が、「再免許」のときは「再免許申請」が、「変更」のときには空欄が選ばれます。変更のときには、もっともふさわしい理由をプルダウンから選択してください。

設定が終わったら次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



(3) かがみの作成



- ・復復代理人がある場合は、復代理人欄に復復代理人を記載して、復代理人を事項書「19 備考」欄に入力します。

	開設	再免許	変更
包括免許の番号	入力しません。	現在の免許の番号を入力します。 「関」「信」「海」「陸」「近」「中」「四」「九」「東」「北」「沖」から選択します。 免許番号を半角数字で入力します。	
包括免許の年月日	入力しません。	現在の免許の年月日を半角数字で入力します。	
備考			

(4) 事項書及び工事設計書の作成

The screenshot shows a Microsoft Word document with a form titled "無線局 事項書 及び 工事 設計書 (1)". The form is divided into several sections with numbered items:

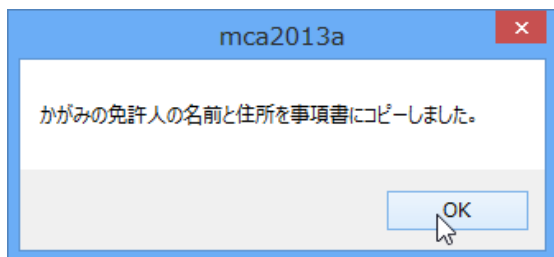
- 1: 申請 (届出) の区分 (Application/Notification Category)
- 2: 届出用途 (Notification Purpose)
- 3: 申請 無線局又は事業を必要とする理由 (Reason for Application/Station or Business)
- 4: 無線局の種別 (無線局の種類コード) (Station Type)
- 5: 包括免許の番号 (Inclusive License Number)
- 6: 無線局番号設置しようとする区画 (Proposed Station Number Area)
- 7: 法人団体・個人の種類 (Applicant Type)
- 8: 法人団体のフリガナ (法人又は団体) (Corporate Name)
- 9: 包括免許の年月日 (Inclusive License Date)
- 10: 包括免許の有効期限 (Inclusive License Validity Period)
- 11: 希望する包括免許の有効期限 (Desired Inclusive License Validity Period)
- 12: 最初の包括免許の年月日 (First Inclusive License Date)
- 13: 運用開始の予定日 (Planned Start Date)
- 14: 無線局の目的コード (Station Purpose Code)
- 15: 通信の相手方 (Communication Counterparty)
- 16: 電線の型式並びに構築する線路敷の規格及び定中継電力 (Cable Type and Specifications)
- 17: 包括免許人の事務所 (Applicant Office)
- 18: 無線局の規格コード (Station Specification Code)
- 19: 工事設計 (Construction Design)
- 20: 備考 (Remarks)

●かがみに入力した申請者の情報を事項書に反映する

The screenshot shows a dialog box titled "メニュー" (Menu) with a "データのコピー" (Copy Data) section. A checkbox is checked, labeled "かがみの免許人の名前と住所を事項書にコピーする" (Copy Kagami Licensee Name and Address to Form). An "実行" (Execute) button is visible.

かがみに入力した申請者の情報を事項書に反映させることができます。申請者の「法人・団体・個人」の種別をプルダウンから選択してから、「データのコピー」フレームの「かがみの免許人の名前と住所を事項書にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。かがみの申請者の住所や氏名を、法人・団体・個人の種別に従って、事項書の7欄「申請（届出）者名等」にコピーできます。

終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



●事項書の入力

	開設	再免許	変更
1 欄 申請（届出）の区分	「開設」をチェック	「再免許」をチェック	「変更」をチェック
2 欄 無線局の種別コード	移動無線センターの場合は「ML MRC」、日本移動通信システムの場合は「ML JAMTA」を選択します。		
3 欄 免許の番号	入力しません。	現在の免許の番号を入力します。 「関」「信」「海」「陸」「近」「中」「四」「九」「東」「北」「沖」から選択します。 免許番号を半角数字で入力します。	
4 欄 欠格事由	「無」をチェックします。		
5 欄 最大運用数	免許の有効期間中において開設される見込みの最大局数を半角数字で入力します。		
6 欄 無線設備を設置しようとする区域	入力しません。		
7 欄 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	1 番目プルダウン「無線局による事業・業務の開始・拡充」を選択します（必須）。2 番目のプルダウン「新規開設」または「アナログ又は 1.5G デジタルを廃止し、移行波で新設」を選択します。3 番目のプルダウンは、電波利用料の減免を希望するときに選択します。	1 番目プルダウン「再免許申請」を選択します（必須）。変更申請を提出している場合または変更申請を同時提出する場合は、フリー入力に「変更申請を提出中」または「変更申請を同時提出」と入力します。	1 番目プルダウン「免許手続規則第 25 条の 2」の場合は「周波数の変更、追加、削除」、「免許手続規則第 22 条」の場合は、1 番目のプルダウンから該当するものを選択します。変更内容を「〇〇から××へ変更」と入力します。

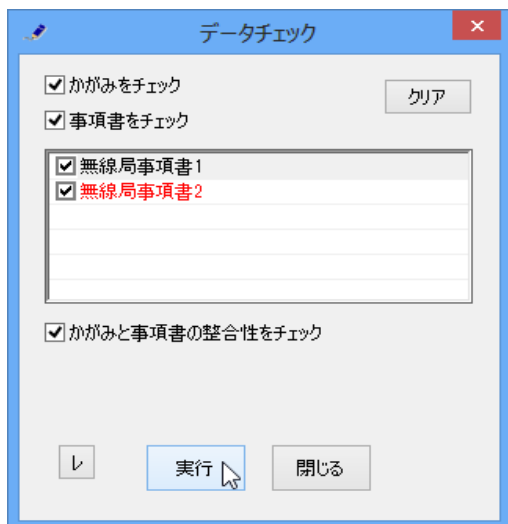
8 欄 申請（届出）者名等	法人の場合		
	法人・団体・個人の別	法人をチェックします。	
	法人又は団体フリガナ	申請者の名称フリガナを全角で入力します。	
	法人又は団体名	申請者の名称を全角で入力します。	
	団体の場合		
	法人・団体・個人の別	団体をチェックします。	
	法人又は団体フリガナ	申請者の名称フリガナを全角で入力します。	
	法人又は団体名	申請者の名称を全角で入力します。	
	個人又は代表者名の姓フリガナ	申請者の姓のフリガナを全角で入力します。	
	個人又は代表者名の名フリガナ	申請者の名のフリガナを全角で入力します。	
	個人又は代表者名の姓	申請者の姓を全角で入力します。	
	個人又は代表者名の名	申請者の名を全角で入力します。	
	個人の場合		
	法人・団体・個人の別	個人をチェックします。	
	個人又は代表者名の姓フリガナ	申請者の姓のフリガナを全角で入力します。	
	個人又は代表者名の名フリガナ	申請者の名のフリガナを全角で入力します。	
	個人又は代表者名の姓	申請者の姓を全角で入力します。	
	個人又は代表者名の名	申請者の名を全角で入力します。	
	その他の欄		
	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。	
	都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。	
	住所	住所を全角で入力します。	
	郵便番号	郵便番号を半角数字で「xxx-xxxx」形式で入力します。	
電話番号	数字とハイフンで電話番号を入力します。(数字のみでも可)		
9 欄 包括免許の年月日	入力しません。	再免許後の年月日を半角数字で入力します。	現免許の年月日を半角数字で入力します。
10 欄 包括免許の有効期間	入力しません。	5 年を希望する場合は入力しません。(電子申請は、再免後の有効期間を	現免許の有効期間を半角数字で入力します。

		入力します。)	
11 欄 希望する包括免許の有効期間	4 年超 5 年以内の 5 月 31 日を希望する場合は入力しません。	入力しません。	
12 欄 最初の包括免許の年月日	入力しません。		
13 欄 運用開始の予定期日	免許の日から 6 か月以内とします。	入力しません。	
14 欄 無線局の目的コード	「GEN」が選択されています。変更することはできません。		
15 欄 通信の相手方	「免許人が使用の承諾を受けた陸上移動中継局」が選択されています。変更することはできません。		
16 欄 電波の型式並びに周波数の範囲及び空中線電力	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログは ABH 電力 10W ・既存 800M デジタルは DBH 電力 2W ・デジタル移行新波は DBV 電力 2W 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログは ABH 電力 10W ・既存 800M デジタルは DBH 電力 2W ・デジタル移行新波は DBV 電力 2W ・デジタル移行新波 DBV と既存 800M デジタル DBH とが併存する場合は DBV/ DBH 電力 2W ・1.5G デジタルは DAL 電力 2W 	
17 欄 包括免許人の事務所	常置場所に相当する住所を入力します。		
	郵便番号	郵便番号を半角数字で「xxx-xxxx」形式で入力します。	
	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。	
	都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。	
	住所	住所を全角で入力します。	
	電話番号	数字とハイフンで電話番号を入力します。(数字のみでも可)	
工事設計書			
18 欄 工事設計 無線設備の規格コード	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログは「MCA」 ・1.5G デジタルは「DMCA1」 ・既存 800M デジタル及び移行新波は「DMCA2」 	入力しません。(電子申請は入力します。)	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログは「MCA」 ・1.5G デジタルは「DMCA1」 ・既存 800M デジタル及び移行新波は「DMCA2」
18 欄 工事設計 定格出力	16 欄の電力と同じ	入力しません。(電子申請は入力します。)	16 欄の電力と同じ
18 欄 工事設計 発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	16 欄の周波数コード同じものを選択します。	入力しません。(電子申請は入力します。)	16 欄の周波数コード同じものを選択します。

18 欄 工事設計 技術基準適合証明の有無	「有」がチェックされています。変更することはできません。							
19 欄 備考	<p>「(注)」16 欄の周波数コードに「注」が付いているものは、チェックします。</p> <table border="1" data-bbox="472 277 1477 808"> <tr> <td data-bbox="472 277 743 472">1 番目プルダウン</td> <td data-bbox="743 277 1477 472">「新スプリアス/旧スプリアスの混在」「全設備が新スプリアス」「全設備が旧スプリアス」から選択することができます。該当するものを選択します。記載を要しない地方局もあります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 472 743 757">2 番目プルダウン</td> <td data-bbox="743 472 1477 757">開設と再免許では利用しません。 「21 最大運用局数に係る計画等の 1 及び 2 は、変更がないので記載を省略します。」「21 最大運用局数に係る計画等の 1 は、変更がないので記載を省略します。」「21 最大運用局数に係る計画等の 2 は、変更がないので記載を省略します。」から選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 757 743 808">3 番目フリー入力</td> <td data-bbox="743 757 1477 808">申請（届）内容等の補足説明などを全角で入力します。</td> </tr> </table>		1 番目プルダウン	「新スプリアス/旧スプリアスの混在」「全設備が新スプリアス」「全設備が旧スプリアス」から選択することができます。該当するものを選択します。記載を要しない地方局もあります。	2 番目プルダウン	開設と再免許では利用しません。 「21 最大運用局数に係る計画等の 1 及び 2 は、変更がないので記載を省略します。」「21 最大運用局数に係る計画等の 1 は、変更がないので記載を省略します。」「21 最大運用局数に係る計画等の 2 は、変更がないので記載を省略します。」から選択します。	3 番目フリー入力	申請（届）内容等の補足説明などを全角で入力します。
1 番目プルダウン	「新スプリアス/旧スプリアスの混在」「全設備が新スプリアス」「全設備が旧スプリアス」から選択することができます。該当するものを選択します。記載を要しない地方局もあります。							
2 番目プルダウン	開設と再免許では利用しません。 「21 最大運用局数に係る計画等の 1 及び 2 は、変更がないので記載を省略します。」「21 最大運用局数に係る計画等の 1 は、変更がないので記載を省略します。」「21 最大運用局数に係る計画等の 2 は、変更がないので記載を省略します。」から選択します。							
3 番目フリー入力	申請（届）内容等の補足説明などを全角で入力します。							
20 欄 無線局の区別	当該申請と識別できる名称等を入力します。							
21 欄 最大運用数に係る計画等 主たる通信の相手方となる MCA 制御局の免許人	「一般財団法人移動無線センター」または「財団法人日本移動通信システム」のどちらかを選択します。	変更がない場合は、入力を省略し、19 欄「21…は、変更がないので記載を省略します。」のプルダウンを選択します。						
21 欄 最大運用数に係る計画等 主たる通信の相手方となる MCA 制御局の年度別運用見込数（単位：局）	<ul style="list-style-type: none"> デジタルの場合は、「加入するデジタルネットワークの各年度の運用見込数」をチェックし、システム名を選択し、各年度の局数を入力します。 アナログの場合は、「主たる通信の相手方の制御局の各年度の運用見込数」をチェックし、制御局名と各年度の局数を入力します。制御局が複数の場合は、制御局単位及び合計を入力します。 	変更がない場合は、入力を省略し、19 欄「21…は変更がないので記載を省略します。」のプルダウンを選択します。						

(5) データチェック

かがみと事項書の入力完了したら、データチェックを実行してください。記載ミス自動的にチェックし、ミスがあればメッセージが出ます。



データチェックが完了したら、名前を付けて保存し、陸上無線協会へのメールに保存した Word 文書を添付してお送りください。